

衆議院文部科学委員会ニュース

【第200回国会】令和元年11月20日（水）、第8回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件（高大接続改革）

・萩生田文部科学大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）独立行政法人大学入試センター理事 義本博司君

（質疑者）中村裕之君（自民）、古田圭一君（自民）、鰐淵洋子君（公明）、吉川元君（立国社）、牧義夫君（立国社）、城井崇君（立国社）、川内博史君（立国社）

（質疑者及び主な質疑事項）

中村裕之君（自民）

- (1) 大学入試センター試験及び大学入学共通テストにおける選択科目間の難易度差への対応
 - ア 大学入試センター試験
 - a 選択科目間に難易度差が生じた場合の対応
 - b 得点調整が行われる基準（平均点差が20点以上）について見直しを求める要望の有無
 - イ 大学入学共通テストの実施に向けた選択科目間に難易度差が生じた場合の公平性を確保するための方策の検討状況
- (2) 大学入学共通テストにおける英語民間試験の導入延期
 - ア 延期決定前に「延期は混乱を招く」と文部科学省が考えた理由
 - イ 受験生の不安解消に向けた文部科学省の取組
 - ウ 延期を踏まえた各大学の個別試験における英語民間試験の活用方針の公表状況
- (3) 大学入学共通テストにおける記述式問題の導入
 - ア 導入の必要性についての文部科学省の見解
 - イ 試行調査（プレテスト）において判明した課題
 - ウ 民間事業者への採点の委託
 - a 採点者に対する試験問題及び解答内容の開示時期
 - b 試験実施前に試験問題や採点基準を知り得る者の数
 - c 採点者の採用方法
 - d 採点者の質を確保するための方策
 - エ 自己採点と採点結果の一致率を改善するための検証方法及び検証時期

古田圭一君（自民）

- (1) 高大接続改革の全体像及び文部科学省のこれまでの取組
- (2) 高等学校教育改革
 - ア 「高校生のための学びの基礎診断」
 - a 同仕組みの周知を図り、高等学校における取組を促進する必要性
 - b 高等学校における「認定ツール」（文部科学省が認定する民間試験）の利活用の状況
 - c 「認定ツール」の受検料などの費用負担の考え方並びに国及び地方公共団体による費用補助の在り方
 - イ 普通科教育改革及び更なる大学入学者選抜改革
 - a 普通科を設置する各高等学校は教育理念に基づく類型を示すべきとの教育再生実行会議第11次提言に関して、複数の目的を持つ普通科を設置する高等学校における類型の示し方
 - b 文理融合型教育の促進などの今後の高等学校教育改革の方向性及び高等学校教育改革を牽引するよう更なる大学入試改革に取り組む必要性

- (3) 大学入学共通テストにおける英語民間試験の導入
 - ア 高校2年生までに受検した英語民間試験の結果も大学入学共通テストに利用可能とする必要性
 - イ 導入延期に伴い「英検2020 1 day S-CBT」の予約金が全額返金されるよう文部科学省が取り計らう必要性
 - ウ 受検者の経済的負担の大幅な軽減策を検討する必要性
- (4) 生徒、保護者及び教員等が安心して臨むことができる大学入学者選抜の実現に向けた萩生田文部科学大臣の決意

鰐淵洋子君（公明）

- (1) 大学入学共通テストにおける英語民間試験の導入延期
 - ア 学校関係者等から指摘された様々な課題を解消しつつ今後の検討を進めることに向けた萩生田文部科学大臣の決意
 - イ 延期を踏まえた各大学の個別試験における英語民間試験の活用方針に係る文部科学省の取組等
 - a 各大学の意向の把握状況
 - b 高校生に対する周知・広報に向けた取組
 - c 公表目途と定めた本年12月13日までに各大学が公表しなかった場合の対応
- (2) 我が国の高校生の英語力の水準
- (3) ALT（外国語指導助手）
 - ア 各高等学校における配置・活用状況
 - イ 英語教員との連携・協力状況
 - ウ 配置の拡充に向けた文部科学省の取組
- (4) 高等学校学習指導要領の教科「英語」において定められている、英語による授業の普及状況
- (5) 平成29年に改訂された小学校学習指導要領により導入される外国語活動及び教科としての外国語教育
 - ア 学校現場における準備状況
 - イ 令和2年4月からの全面実施に向けた文部科学省の取組
- (6) 小・中学校及び高等学校の英語の授業におけるICT機器の活用状況及びICT環境整備促進に向けた文部科学省の取組
- (7) キャリア教育に関する各学校段階における取組状況及び同教育の充実に向けた文部科学省の取組
- (8) 児童生徒の英語4技能（「聞く」「話す」「読む」「書く」）習得の推進に向けた萩生田文部科学大臣の決意

吉川元君（立国社）

大学入学共通テストにおける記述式問題の導入

- ア 国公立大学の二段階選抜の判断材料から国語の記述式問題の成績を除外するよう文部科学省が要請するとの報道
 - a 報道内容の事実確認
 - b 数学の記述式問題について同様の要請を検討している事実の有無
 - c 国語の記述式問題には課題があると文部科学省が認識していることの確認
 - d 国語の記述式問題は合否判定に活用しうる質を担保できていない懸念
- イ 各国立大学が実施する二次試験
 - a 二次試験における記述式問題の導入割合が文部科学省の調査と東北大学の調査で異なる理由
 - b 二次試験における国語の試験実施率によって記述式問題の導入の必要性を判断しているかの確認

- ウ 各大学における国語の記述式問題の利用方針
 - a 利用しない大学及び方針を決定していない大学の数
 - b 利用しないと決定した理由
- エ 国語の記述式問題の段階評価
 - a 正確性を客観的に担保する仕組みの有無
 - b 設問ごとに点数化しない理由
 - c 段階評価では公平な採点の実現されない懸念
 - d 段階評価とした理由
- オ 国語の記述式問題の導入は受験生に対し自信を持って勧められる制度設計となっていないとの意見に対する萩生田文部科学大臣の見解

牧義夫君（立国社）

- (1) 大学入学共通テストにおける英語民間試験の導入延期
 - ア 萩生田文部科学大臣が延期を決断した時期
 - イ 今後の選択肢として、導入中止の判断も含まれることの確認
 - ウ 『大学入学共通テスト』検討・準備グループ』及び「大学入試英語4技能評価ワーキンググループ」の議事録の公開時期
- (2) 英語4技能を習得する必要性についての萩生田文部科学大臣の見解
- (3) グローバル人材の定義
- (4) 民間の教育機関に頼ることなく、高等学校等の公教育においてグローバル人材を育成する必要性
- (5) 全国学力・学習状況調査の実施をベネッセコーポレーション及びグループ会社に委託した経緯
- (6) 模擬試験運営や予備校経営等を行うベネッセグループによる大学入学共通テストにおける記述式問題の採点業務の実施が利益相反に当たる可能性
- (7) 新たな高等学校学習指導要領に基づく教科「国語」の科目編成の変更が、我が国の言語文化に影響を与える懸念

城井崇君（立国社）

- (1) 大学入学共通テストにおける英語民間試験の活用に係る下村博文衆議院議員の言動に関する報道
 - ア 自由民主党内の会議において英語民間試験の活用を東京大学に指導するよう文部科学省に要請したとの報道
 - a 同報道の事実確認
 - b 同会議に文部科学省の職員が同席していた事実の有無
 - c 憲法や教育基本法の趣旨に反するとの意見に対する萩生田文部科学大臣の見解
 - イ 五神真東京大学総長と面会し、英語民間試験の活用を要求したとする報道
 - a 同報道の事実確認
 - b 学問の自由への侵害との意見に対する萩生田文部科学大臣の見解
 - ウ 両報道内容を文部科学省として調査し、本委員会に報告する必要性
- (2) 大学入学共通テストにおける記述式問題の採点事業者による利益相反行為への懸念
 - ア 採点事業者とその親会社の職務を併任することの可否
 - イ 採点を担う部署から試験対策を担う部署への人事異動を防止することの可否
 - ウ 大学入試センターと採点事業者との業務請負契約における、同事業者の作成物に係る知的財産権の取扱いに係る規定
 - a 採点事業者が権利が留保される規定に対する懸念及び留保の対象となる作成物
 - b 大学入試センターに権利を帰属させなかった理由

- エ 大学入試センターと採点事業者との業務請負契約における、同事業者の業務の中立性及び信頼性の確保に係る規定
 - a 採点事業者の親会社が自己採点力の向上を図るサービスを提供していることが契約違反に該当する可能性
 - b 高等学校関係者向けの研究会において記述式問題の採点アドバイザー業務の受託を紹介する資料を配付したことが契約違反に該当する可能性
- オ 平成 29 年度試行調査（プレテスト）の関連業務の落札者による同調査の問題及び採点基準の作成への関与
 - a 記述式問題及び採点基準の作成に係るアドバイザー業務の落札者及び同落札者による関与の有無
 - b 実施補助業務の落札者
 - c 記述式問題の採点関係業務の落札者及び同落札者による関与の有無
- カ 平成 30 年度試行調査（プレテスト）における記述式問題の採点関係業務の落札者及び同落札者による同調査の問題及び採点基準の作成への関与の有無
- キ 利益相反行為への懸念が払拭されない限り記述式問題の導入を中止すべきとの意見に対する萩生田文部科学大臣の見解

川内博史君（立国社）

- (1) 大学入学共通テストにおける英語民間試験の導入に係る遠藤利明衆議院議員と五神真東京大学総長との面会
 - ア 文部科学省が把握している面会に至る経緯及び同省からの同席者の有無
 - イ 当時高等教育局長を務めていた義本参考人が把握している面会の内容
- (2) 大学入学共通テストにおける記述式問題の導入
 - ア マークシート式で行われてきた大学入試センター試験における採点ミスの数
 - イ 記述式問題の導入により受験者の思考力、判断力、表現力が向上することを示す科学的データの有無
 - ウ マークシート式問題と記述式問題の間で受験者の得点分布に差が出るか否かの確認
 - エ 平成 29 年度試行調査（プレテスト）における国語の 120 字の記述式問題に係る採点時及び再採点時の採点ミスの数
 - オ 本日の委員会の議論を踏まえた、記述式問題の導入についての萩生田文部科学大臣の見解